

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」(平成17、18年度採択)

中間評価結果(公表用)

番号	研究課題名	研究代表者	評価
	市民参画型道路計画体系の提案と道路網計画における対話技術の開発	東京工業大学大学院 教授 屋井 鉄雄	B

< 研究継続の妥当性評価 >

- ・ 実用性の高い対話支援システムを構築するため、指摘事項に留意しながら、計画通り研究を継続することが妥当である。

< 今後の研究計画・方法への指摘事項 >

1. 現在のテーマ3(自然言語処理技術と交渉理論を応用した対話支援システム)と、テーマ1(論理的・手続き的整合性を高めた計画体系)及びテーマ2(地域交通計画・道路網計画における新たな市民参画の方法論)との一体性が不足しているように思われる。テーマ1及び2から、具体的に、テーマ3がなぜ必要か及びテーマ3に求められる要件を明確にした上で、テーマ3を実施する必要がある。また、テーマ3から得られた知見をテーマ1及び2に反映して頂きたい。